

9. ごみと資源物

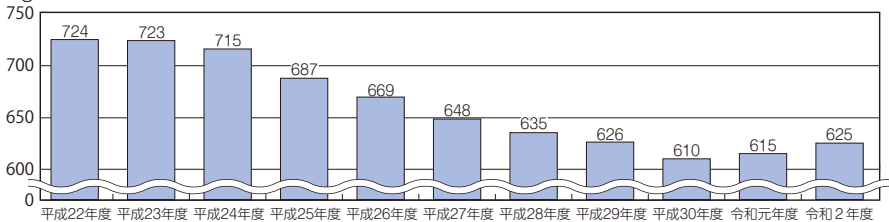
平成23年1月に策定した「ヨコハマ3^{スリム}R夢プラン」は、平成22年度から令和7年度までの16年間の長期計画であり、ごみと資源（古紙、プラスチック、缶など）の総量の削減を目標としています。

令和2年度の磯子区のごみと資源の総量は38,006tで、第3期推進計画目標（平成30年度から4年間の目標）の基準年度である平成29年度比で▲0.2%でした。

また、令和2年度の磯子区の1人1日あたりのごみと資源の総排出量は625gでした。

昨年度と比較し増加となった要因として、新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言発出期間中を中心に家で過ごす時間が長くなったこと等が考えられます。

(g) 〈1人1日あたりのごみと資源の総排出量の推移〉



磯子区では、区民、事業者、行政が一体となって環境行動を促進するため、様々な普及・啓発活動を実施しています。

〈横浜市の目標〉「ヨコハマ3^{スリム}R夢プラン」（削減率はすべて平成21年度比）

- ・ごみと資源の総量を令和7年度までに10%以上削減
第3期推進計画目標において令和3年度までに8%以上削減
- ・ごみ処理に伴う温室効果ガスを令和7年度までに50%以上削減
第3期推進計画目標において令和3年度までに25%以上削減

コラム8

減らそう！ プラスチックごみ

どんな問題があるの？

- ・世界全体で年間数百万トンものプラスチックが陸上から海洋へ流出しています。このままでは、2050年までに魚の重量を上回るプラスチックごみが海洋を占めると予測されています。
- ・リサイクルされない石油資源のプラスチックを燃やすと、多くの温室効果ガスが排出されるため、地球温暖化の要因の一つとなっています。

問題解決に向けて私たちができること

ポイ捨てをしないことに加え、ごみの元となるプラスチック、特に「使い捨てプラスチック」の利用を減らしていくことです。



マイバッグを使用しましょう

買い物の際はレジ袋をもらわず、マイバッグを使いましょう。



マイボトルを使用しましょう

ペットボトルなどのごみを減らすために、出掛ける際にはマイボトルを持参しましょう。



使い捨て食器は断りましょう

マイ箸などを使用し、使い捨てのフォークやスプーン、ストローをもらわないようにしましょう。

もったいない！まだ食べられるのに廃棄されている「食品ロス」の現状

食品ロスとは、食べ残しや手つかず食品、むき過ぎた野菜の皮など、本来食べられるのに、廃棄されている食べ物のことを指します。

横浜市の家庭から出される燃やすごみの中には、年間約 **9万3千トン**もの食品ロスが含まれており、これは一人当たり年間約 **25キロ**になる量です。

一人当たり年間約 **19,000円**が捨てられている計算になります。



燃やすごみの中から見つかった「手つかず食品」の例

これを金額に換算すると



約 **25キログラム** 約 **19,000円**

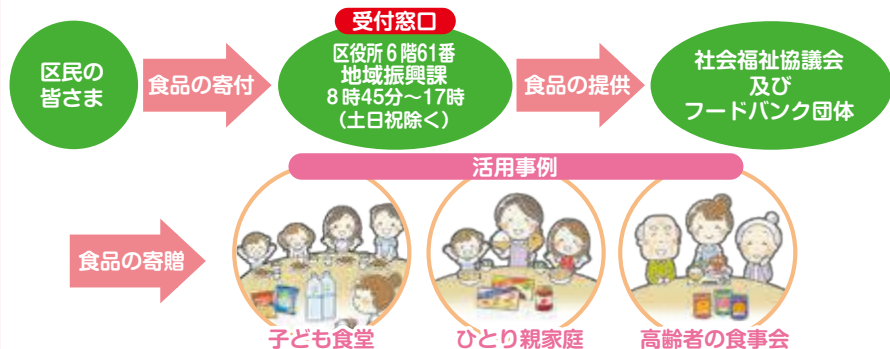
▶食品ロスをなくすことで、家計の節約にもつながります。一人ひとりができる『暮らしの中のもったいない』を見直しましょう。

フードドライブ活動

フードドライブ活動とは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉施設や団体などに寄贈する活動です。まだ食べられるのに廃棄される食品を活用することで、食品ロスの削減にもつながります。

なお、区役所が集めた食品は、社会福祉協議会及びフードバンク団体を通じて、地域の福祉施設や食を必要としている方に寄贈しています。

区役所でのフードドライブ活動の流れ



ご提供いただける食品例

- ・お米、お茶漬け、海苔、ふりかけ
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・調味料（しょうゆ、食用油など）
- ・缶詰、レトルト・インスタント食品
- ・粉ミルク、離乳食、お菓子 など



確認していただきたいこと「3か条」

- 1 未開封のもの（外装が破損していないもの）
- 2 賞味期限（要明記）が **2か月以上** あるもの
- 3 常温保存できるもの